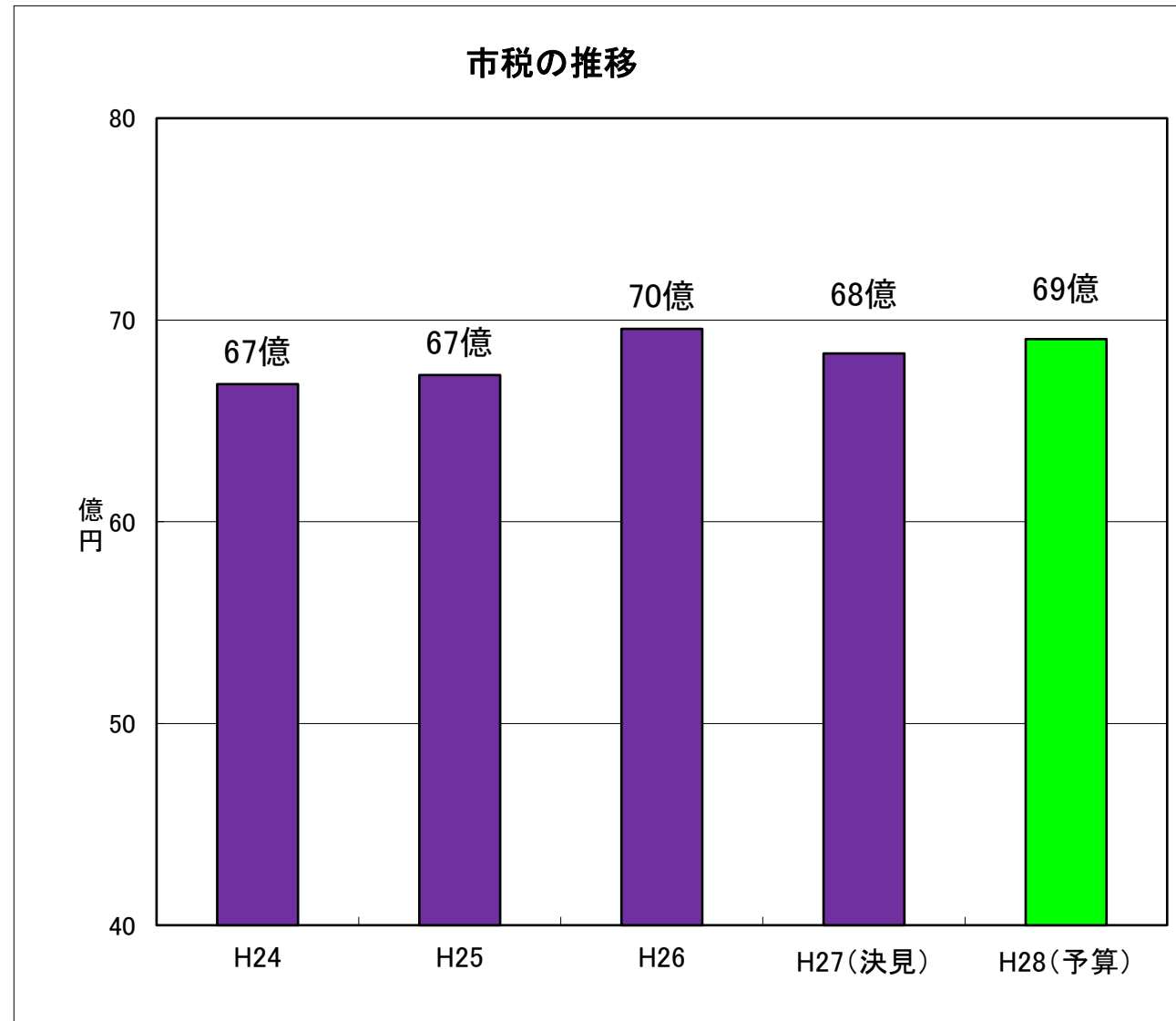
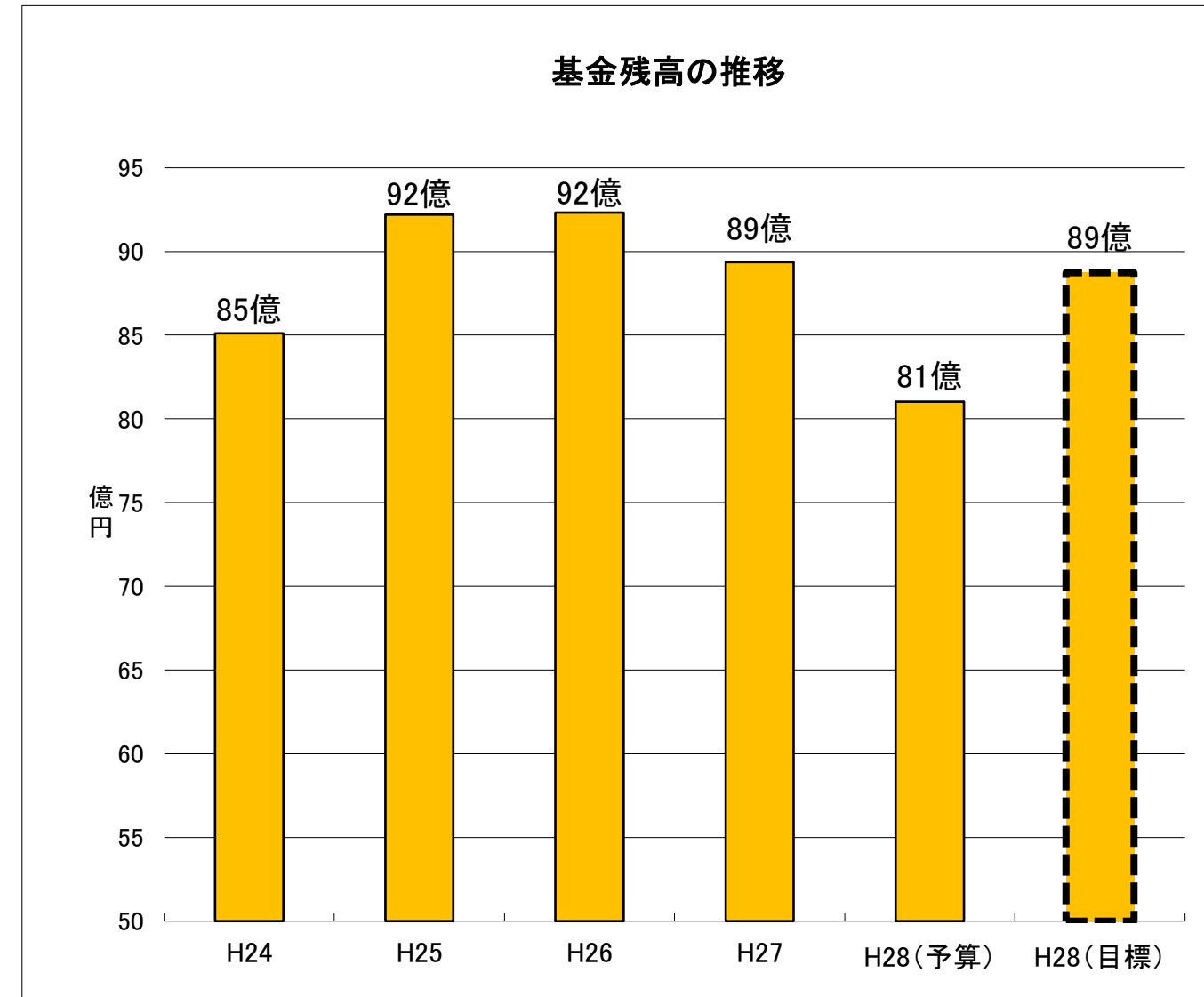


1 市税



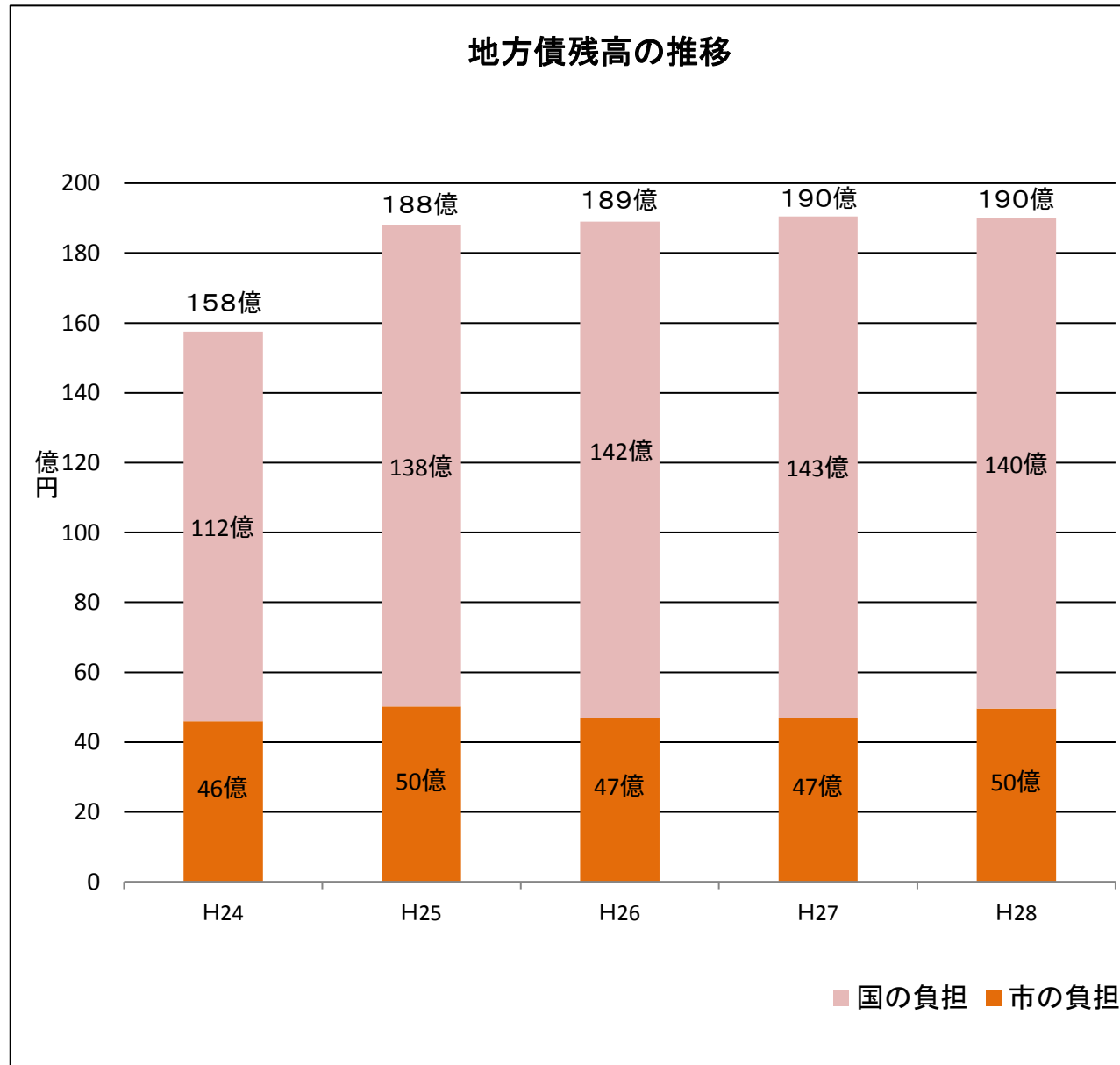
平成28年度の市税は、個人市民税、固定資産税等の増により、対前年度1億円増の69億円を見込む。

2 基金残高



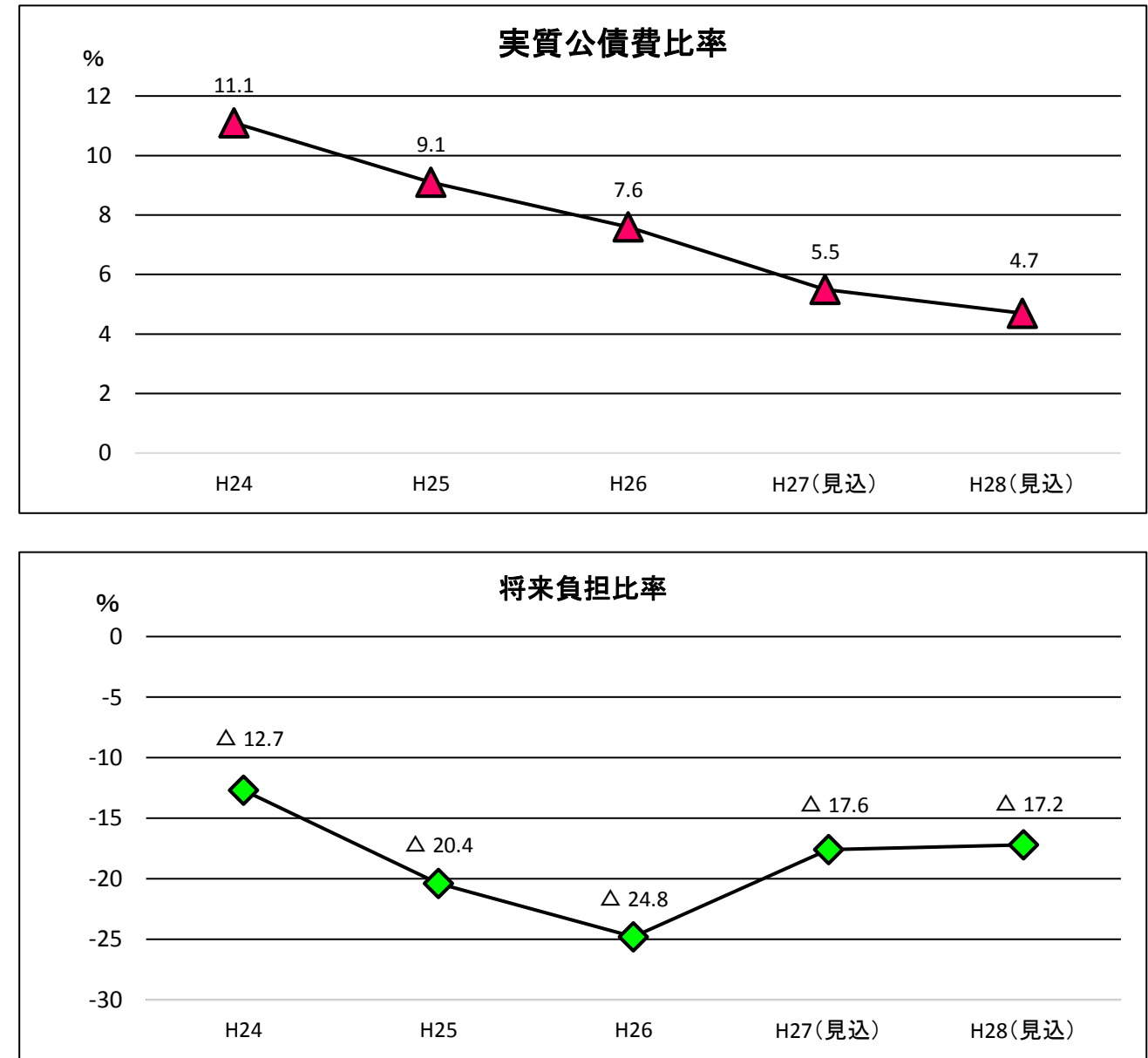
基金の平成28年度末残高見込みは、予算ベースで81億円となる。財政基金の取崩額は7.7億円となり、対前年度1億円の増。コスト削減を意識した予算執行等により、平成28年度末の基金残高目標値を89億円とした。

3 地方債残高



平成28年度の地方債残高は前年度から横ばいの190億円を見込む。
市の実質負担額は、後年度に国の補てんが受けられる地方債の活用によって全体の1/4程度を維持。

4 財政健全化指標



実質公債費比率は、地方債の借入抑制等により、引き続き改善される見込み。
将来負担比率は若干上昇するものの、充当可能基金の適正管理、国から補填される地方債の活用等により引き続き優良値を維持。